

Future City Backcast

未来の街から、 いま決める事業・研究・投資を逆算する。

社会・産業・技術・暮らしの構造変化から、未来の街を具体化。
予測で終わらず、複数の可能性を踏まえて、今の判断・判断期限・次の行動へ。

このような課題に

経営企画 長期方針を、今の投資・撤退判断に
落とし込めない。

研究企画 技術が街で使われる時期と、
研究テーマの優先順位が決まらない。

新規事業 変化は分かるが、具体的な
参入先を絞り込めない。

都市開発 将来像を、施設用途・街区計画・
可変性の設計につなげられない。

進め方 — 未来の街を、今の判断につなぐ



成果物 — 6つの分析を、1枚の経営判断へ



判断を支える6つの分析

- 01 変化要因マップ**
社会・技術・生活の変化要因
- 02 複数未来・Future Cityモデル**
複数の未来を空間・生活像に
- 03 成立条件・時間軸マップ**
成立条件・判断期限・再評価条件
- 04 現在戦略Gap評価**
未来の要求と現状の不足を比較
- 05 判断・施策ポートフォリオ**
判断と打ち手を配置・優先づけ
- 06 逆算ロードマップ**
将来から準備と判断時点を逆算

提供範囲と各資料の深さは、テーマ・対象範囲に応じて個別に設計します。

自社テーマで相談する（無料）

対象地域や未来像が決まっていなくても、ご相談いただけます。

相談 northbound.jp/contact?type=future-city-backcast

詳細 northbound.jp/future-city-backcast

